

[中吐]IRIS+ベクティビックス療法

外科:
処方医:
適応症: 大腸癌
4週間を1コースとして投与を繰り返す

Table with 28 columns (days) and 5 rows (Bekti-bix, Irinotecan, S-1 Morning, S-1 Evening) showing treatment schedule with dots.

身長: cm 体重: kg 体表面積 m^2

[投与スケジュール] (クール目)
Day1(月日) Day15(月日)

Main table for drug administration with columns for Main Line (本管) and Side Line (側管), listing drug names and dosages.

* 初回投与時は60分 初回の認容性が良好であれば2回目以降の投与は30分間投与することができる
DAY2(月日)~3(月日) DAY16(月日)~17(月日)

Table for Day 1 and Day 15 administration details, including drug names like Dexamethasone and S-1.

[DLF] Irinotecan
白血球減少及び下痢(水様便)
[DLF] S-1
白血球減少及び下痢(水様便)

[適正使用基準]

Table listing 11 criteria for appropriate use, such as PS status, infection, and organ function.

[今回の投与量]
CPT-11 mg
[累積投与量]
CPT-11 mg
[今回の投与量]
CPT-11 mg
[累積投与量]
CPT-11 mg

12. 黄疸がない			
13. 硫酸アタザナビルを投与されていない			
15. KRAS遺伝子野性型である			
16. 適切なインフォームド・コンセントにもとずき患者から文書により同意が得られている			
17. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。			
WBC	3500 \leq		
PLT	10万 \leq		
TBIL	<2		
GOT	\leq 100		
GPT	\leq 100		
Cr	\leq 1.1		
Mg	1.7-2.5		
K	3.5-5.0		
Na	135-146		
Ca	8.7-11		
P	2.5-4.7		

S-1

体表面積	初回基準量
<1.25m ²	80mg/日
1.25 \leq BSA<1.5	100mg/日
1.5 \leq BSA	120mg/日

Ccr	80以上	80 $>$ \geq 60	60 $>$ \geq 30	投与不可
投与開始量	初回基準量	初回基準量 必要に応じて 1段階減量	原則として1段階以上の減量	30以下

ペクティビックス皮膚障害出現時用量調節延期
[肝機能を考慮した投与量の調節]

TBil(mg/dL)	<5.0	5.0 \leq
5-FU	100%	中止

[重大な副作用]

ティーエスワン

- ・骨髄抑制、溶血性貧血：汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、貧血、血小板減少等の重篤な骨髄抑制、溶血性貧血
- ・DIC
- ・劇症肝炎等の重篤な肝障害
- ・脱水症状【激しい下痢等】
- ・重篤な腸炎【激しい腹痛・下痢等】
- ・間質性肺炎【咳嗽・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・重篤な口内炎、消化管潰瘍、消化管出血、消化管穿孔【腹痛・嘔吐・吐血・下血等】
- ・急性腎不全【むくみ・乏尿等】
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症【紅斑・発熱・関節痛・下痢等】
- ・白質脳症等を含む精神神経障害【歩行時のふらつき・
- ・急性膵炎
- ・横紋筋融解症
- ・臭覚脱失

リノカン

- ・骨髄機能抑制
- ・高度な下痢
- ・腸管穿孔、消化管出血、腸閉塞【腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等】
- ・間質性肺炎【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・ショック、アナフィラキシー様症状【呼吸困難・血圧低下等】
- ・肝機能障害、黄疸【食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等】
- ・急性腎不全【むくみ・尿量低下等】

ペクティビックス

- ・重度の皮膚障害

- ・間質性肺疾患(間質性肺炎、肺線維症、肺臓炎、肺浸潤)
- ・インフュージョン リアクション
- ・下痢